

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 2 部門第 6 区分
 【発行日】平成 17 年 5 月 19 日 (2005.5.19)

【公開番号】特開 2001-1619 (P2001-1619A)
 【公開日】平成 13 年 1 月 9 日 (2001.1.9)
 【出願番号】特願 2000-120044 (P2000-120044)
 【国際特許分類第 7 版】
 B 6 5 C 9/10
 B 6 5 C 9/26
 【F I】
 B 6 5 C 9/10
 B 6 5 C 9/26

【手続補正書】
 【提出日】平成 16 年 7 月 8 日 (2004.7.8)
 【手続補正 1】
 【補正対象書類名】明細書
 【補正対象項目名】0 0 3 2
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【0 0 3 2】

これと共に、カード完成後の表面保護性が図 3 B に示す他の顔画像入りカード 1 0 3 に比べて向上する。図 3 B に示す顔画像入りカード 1 0 3 はホログラム像 1 3 の偽変造防止箔 1 3 A 及び硬化型保護層 1 2 を各々一層にずつ形成したものである。多重にするものは硬化型保護層 1 2 のみに限られることはなく、所定膜厚の硬化型保護層 1 2 と偽変造防止箔 1 3 A とを組み合わせると多層にしてもよい。

【手続補正 2】
 【補正対象書類名】明細書
 【補正対象項目名】0 0 8 3
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【0 0 8 3】

カード基板 1 1 の裏面にはサインパネルや、運転免許証の筆記層などが設けられる場合もある。この例では、カード基板 1 1 が 1 枚ずつ生カード供給部 4 2 から搬送ベルト装置 4 1 へ投下するように自動供給される。

【手続補正 3】
 【補正対象書類名】明細書
 【補正対象項目名】0 1 6 0
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【0 1 6 0】

この実験結果によれば、硬化型保護層 1 2 の膜厚 T_h が $T_h < 0.5 \mu m$ ときはバリが発生するが支障はない。しかしながら、 $T_h < 0.5 \mu m$ ときは転写温度 T_x に関して 90 , 100 , 190 , 230 , 250 のいずれの場合も膜付き性が劣化し、カード表面から硬化型保護層 1 2 が容易に剥がれてしまったり、転写時に支持体に変形する原因となる。